



年頭のごあいさつ

一般財団法人 全国市町村振興協会
会長 立谷 秀清

(全国市長会会長・福島県相馬市長)

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

旧年中は本協会の業務運営につきまして、格別のご支援とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年は、8月11日から日本付近に停滞した前線の影響で、西日本から東日本の広い範囲で大雨となりました。この大雨により、全国各地で土砂災害や河川の増水、氾濫等の水害による被害が発生しました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。

さて、昨年発足した岸田内閣のもと、12月20日に「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」として、過去最大規模といわれる「令和3年度一般会計補正予算（第1号）」が成立しました。新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の増額やワクチン接種体制の確保、ウィズコロナ下での社会経済活動の再開等を図るための事業復活支援金や新たなGo Toトラベル事業、現下のエネルギー価格高騰対策など幅広い対応、さらに、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策などに取り組むこととされています。

こうした対策は、市町村の振興発展にとっても極めて重要なものであり、市町村の果たすべき役割もますます大きくなっていくことは申すまでもありません。

このような中、市町村が地域の実情に応じた事業を展開するには、必要な財源が安定的に確保されることが極めて重要であります。「市町村振興宝くじ」の収益金はそのような市町村にとって重要な財源の一つとして大きな意義を有するものであります。

昨年のサマージャンボ宝くじの売上げは、無観客対応のオリンピック開催や緊急事態宣言による人流の抑制、悪天候等の特殊事情が重なり、残念ながら前年比減となってしまいましたが、ハロウィンジャンボ宝くじの売上げにつきましては、2年続けて前年を上回る結果となりました。インターネット販売の公式サイトでの会員数も順調に伸びており、また、更なる宝くじ販売促進の取組みにより今後の売上増につながるよう期待するところであります。

本協会といたしましても、引き続き、地方協会の皆様や市町村の発展に寄与するための諸事業に取り組んでまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

終わりに、皆様方のますますのご健勝と全国の市町村及び市町村振興協会の更なる発展を祈念し、年頭のごあいさつとさせていただきます。